

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	現在感染予防の為、運営推進会議に必要な書類は各参加メンバーに郵送しており、議事録を作成していない。 郵送した資料は、公表していない。 参加しているメンバーとは、意見交換ができていない。	運営推進会議の資料を公開する。	運営推進会議の郵送した事業所の運営状況などの資料をファイリングし、ご家族にも見て頂くように公表する。 返信用紙を入れて、情報交換をし意見交換を行っていく。	6ヶ月
2	7	虐待防止委員会の研修がレポートと参加名簿のみで研修資料が添付されていない。 委員会で各フロアの問題点について意見交換しているが、その内容が議事録には載せられていない。	委員会の問題点を効率よく共有する。	前回は行った研修資料が分かり、次回行う研修内容を明確にする為に、研修資料と一緒に添付するようにしていく。 委員会で各フロアの問題点について意見交換した内容も議事録に載せていくようにしていく。	12ヶ月
3	8	権利擁護に関する制度について、研修が行えていない。	全職員が権利擁護について知識を取得する。	権利擁護センターにある成年後見制度の冊子を利用し、研修を行うようにしていく。	6ヶ月
4	26	ケアプランの最新版を連絡ノートに挟んで確認するのみだった。 アセスメントシートは、検証する回数が少ない。	ケアプランに基づいたケアを行う為にフロア職員に共有できる。	ケアプランの最新版を作り、職員がいつでも見れるようにファイリングする。 現場の中で、ケアプランに沿ったケアを行えるように変更箇所にはマーカーを引き、分かりやすく周知できるようにする。 アセスメントシートは半年に1回検証していくようにする。 検証した日付は、入れておくようにする。	12ヶ月
5	38	利用者が昼間眠ってしまい、暇そうにしている時に何かしてあげるといふ職員の行動が少ない。 利用者に寄り添うという機会を持つ認識が少ない。	利用者の為のケアを再検討する。	利用者が楽しめるようなことを随時カンファレンスやフロア会議で話し合い、議事録で共有する。 現場職員が利用者に寄り添う為の研修を実施する。	6ヶ月